



# Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定

- [Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定 \(1 ページ\)](#)

## Cisco Personal Communications Assistant へのアクセスの設定

### はじめに

Cisco Personal Communications Assistant (PCA) が、インストール中に Cisco Unity Connection サーバにインストールされます。これは、ユーザに Cisco Unity Web ツールへのアクセスを提供する Web サイトで、これによってユーザは、Unity Connection でメッセージや個人の設定を管理できるようになります。Cisco PCA で使用可能な Web ツールには、次のものが含まれます。

- Messaging Assistant
- Cisco Unity Connection パーソナル着信転送ルール

上記のツールの詳細については、各ツールの該当する『*User Guide for Cisco Unity Connection*』およびヘルプを参照してください。

### Cisco PCA にアクセスするための Web ブラウザの設定

Cisco PCA および Cisco Unity Connection Web ツールを使用するには、各ユーザワークステーションのブラウザを設定する必要があります。コンピュータにインストールされているブラウザに応じて、適切な項を参照してください。

各ブラウザでサポートされているバージョンのリストについては、次の URL から『*Compatibility Matrix for Cisco Unity Connection*』を参照してください。

[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/compatibility/matrix/b\\_cucclientmtx.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/b_cucclientmtx.html)

## Apple Safari

Cisco PCA にアクセスするために Safari を設定するには、次のタスクを実行します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。次の URL から、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 14*』の「[Software Requirements-User Workstations](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html)」の項を参照してください。[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/14/requirements/b\\_14cucsysreqs.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html)
2. 次に示すように Safari を設定します。
  1. Java を有効にします。
  2. Java スクリプトを有効にします。
  3. 移動したサイトからのみクッキーを受け入れます。

## Microsoft Internet Explorer

Cisco PCA にアクセスするために Internet Explorer を設定するには、次のタスクを実行します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。次の URL から、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 14*』の「[Software Requirements-User Workstations](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html)」の項を参照してください。[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/14/requirements/b\\_14cucsysreqs.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html)
2. 次に示すように Internet Explorer を設定します。
  1. アクティブ スクリプトを有効にします。
  2. ActiveX コントロールをダウンロードして実行します。
  3. Java スクリプトを有効にします。
  4. すべてのクッキーを受け入れます。
  5. 一時的なインターネット ファイルの新しいバージョンを自動的にチェックします。
  6. [中 - 高 (Medium-High) ] のプライバシーを有効にします。

## Mozilla Firefox

Cisco PCA にアクセスするために Firefox を設定するには、次のタスクを実行します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。次の URL から、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 14*』の「[Software Requirements-User Workstations](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html)」の項を参照してください。[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/14/requirements/b\\_14cucsysreqs.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html)
2. ユーザが Firefox を Apple MAC OS X または Microsoft Windows ワークステーションで実行している場合は、タスク 3 に進みます。

ユーザが Firefox を Linux Red Hat ワークステーションで実行している場合は、[Alsa-project.org](http://alsa-project.org) の Web サイトにあるサウンドカード サポート マトリクスを参照して、ユーザが正しいサウンドカードを使用しているかどうかを確認します。(Java Runtime Environment (JRE) プラグインソフトウェアは、Advanced Linux Sound Architecture (ALSA) ドライバを使用して、システム サウンド デバイスにアクセスし、再生および録音機能を制御します。サウンドカードによっては、再生および録音機能が制限される場合があります)。

3. 次に示すように Firefox を設定します。
  1. Java を有効にします。
  2. JavaScript を有効にして、[詳細設定 (Advanced)] で [画像の変更 (Change Images)] を有効にします。
  3. サイトでのクッキーの設定を許可します。(セキュリティ上の理由から、送信元 Web サイトのクッキーだけを保存することを推奨します)。

## Cisco PCA の GUI 言語の変更

Cisco PCA で使用される GUI 言語を変更するには、次のタスクを実行します。

1. 該当する言語をダウンロードし、インストールします。詳細については、次の該当するマニュアルを参照してください。
  - 新しい Unity Connection サーバについては、『*Install, Upgrade, and Maintenance Guide for Cisco Unity Connection, Release 14*』の「Maintaining Cisco Unity Connection Server」の章にある「[Installing Unity Connection Language Files](#)」の項を参照してください。このガイドは、[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/14/install\\_upgrade/guide/b\\_14cuciumg.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html) からご利用いただけます。
  - 既存の Unity Connection サーバについては、『*Install, Upgrade, and Maintenance Guide for Cisco Unity Connection, Release 14*』の「Maintaining Cisco Unity Connection Server」の章にある「[Removing Unity Connection Languages](#)」の項を参照してください。このガイドは、[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/14/install\\_upgrade/guide/b\\_14cuciumg.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/install_upgrade/guide/b_14cuciumg.html) からご利用いただけます。
2. インターネットブラウザで言語を選択します。ブラウザで選択する言語は、Cisco PCA が提供する言語のいずれかである必要があります。Unity Connection サーバにインストールされている必要があります。サポートされている言語の一覧については、『*System Requirements for Cisco Unity Connection Release 14*』のシステム要件」の「[Available Languages for Unity Connection Components](#)」の項を参照してください。このドキュメントは、[https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/14/requirements/b\\_14cucsysreqs.html](https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/connection/14/requirements/b_14cucsysreqs.html) からご利用いただけます。

## SSL 接続で自己署名証明書を使用するセキュリティアラートの管理

SSL対応の Unity Connection を Cisco PCA に提供するため、インストール中に生成される自己署名証明書を使用すると、ユーザの Web ブラウザにサイトの信頼性を確認できないことを警告するメッセージが表示され、その証明書の内容を信頼できません。同様に、自己署名 SSL 証明書を使用して Unity Connection への IMAP 電子メールクライアントアクセスを保護すると、Unity Connection での使用がサポートされた一部の電子メールクライアントで、SSL セキュリティメッセージが表示されます。

アラートが出た場合でも、ユーザは Unity Connection にアクセスすることができますが、ユーザが Cisco PCA を参照したり、そのメッセージに IMAP 電子メールクライアントからアクセス

## SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する

したりするときのセキュリティアラートを管理または排除するために、次のいずれかのオプションを検討してください。

- SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加します。そうすることで、ユーザにセキュリティアラートが表示されなくなります。次の [SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する \(4 ページ\)](#) の手順を実行します。
- ブラウザまたは電子メールクライアントにアラートが表示されて対処方法を尋ねられた場合は、[常に受け入れる (Accept Permanently)] (または同等の) オプションを選択するよう、ユーザに指導します。ブラウザや電子メールクライアントで証明書を許可するよう指定すると、このアラートは再表示されなくなります。

## SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	Unity Connection サーバの OS Administration アプリケーションから、右クリックして証明書をダウンロードし、ファイルとして保存します。	
ステップ 2	証明書を各ユーザワークステーションにコピーして、次にブラウザまたは IMAP クライアントでツールを使用してこれを必要に応じてインポートします。	